



参加した皆さんは、力強い声援を受けて勢いよくスタートしました

起伏のあるコースを駆け抜ける
大迫町体育協会発足50周年を記念した「大迫クロスカントリー大会」が11月3日、大迫体育館前を発着点とする愛宕山公園周回コースで初めて開かれました。昨年度まで開催された早池峰ロードレース大会に代わるイベントとして企画された同大会には、市内外から124人がエントリー。小中学生と一般は2.5km、大人と子どものペアは1.4kmを走りました。参加した皆さんは、紅葉した木々の間に設けられた上り下りの起伏があるコースを力走し心地よい汗を流しました。



のど自慢の本選に出場した皆さん。自慢の歌声で会場を盛り上げました

自慢の歌声を披露
宮沢賢治没後80周年を記念して、「NHKのど自慢」が10月27日、文化会館で開催されました。前日の厳しい予選会通过し、本選に出場した20組の皆さんは、大勢の観客の前で自慢の歌声を披露。中には、こだわりの衣装で歌う人や踊りを交えて歌う人など、それぞれにステージを楽しみ、会場を盛り上げました。最後にゲスト出演の中村美津子さんと水樹奈々さんが美しい歌声を響かせ、観客はその声に聞き入っていました。



88個の臼が会場いっばいに並べられた餅つき大会。子どもたちも餅つきに挑戦

多彩な催しで実りの秋を満喫
JAいわて花巻主催の第15回農業まつりは10月19日と20日の2日間、JAいわて花巻本店イベント広場で開催され、子どもから大人まで大勢の人でにぎわいました。同まつりでは花巻東高校の生徒による書道パフォーマンスやゆもと幼稚園、太陽の子保育園の園児による遊戯、88個の臼を使った餅つき大会など多彩なイベントを開催。その他にも地元産の農産物が販売されるなど、会場は活気に満ちていました。来場した皆さんは自然の恵みに感謝し、実りの秋を満喫していました。



床に置いてある輪を目掛けてボールを投げる参加者。五つの種目を通じて運動の楽しさに触れました

運動の楽しさ実感
エンジョイスポーツクラブはなまきが主催する「スポーツチャレンジ2013」が10月26日、市民体育館で開かれました。児童の体力向上などを目的に初めて開催されたもので、当日は、市内の未就学児と小学生約80人が参加。同クラブが考案した運動など5種目に取り組み、楽しみながらタイムや点数を競いました。平彩斗さん(湯本小4年)は、「ボールを投げて輪に入れるゲームが楽しかった。本番では緊張してうまくできなかったのですがまた挑戦したい」と笑顔で話していました。



スケートを楽しむ来場者。久しぶりの氷の感触に笑顔が広がりました

氷の感触久しぶり
石鳥谷町中寺林の屋内スケート場「石鳥谷アイスアリーナ」が11月1日、今シーズンの営業を開始しました。オープンから最初の日曜日となった3日は無料で開放され、多くの家族連れや子どもたちが来場。久しぶりの氷の感触を確かめながら滑走を楽しんでいました。同スケート場は、地元の学校の体育の授業や子ども会の冬休み行事、スポーツ少年団のアイスホッケーやフィギュアスケートの練習・大会会場としても使われます。一般営業は来年3月30日までです。



締結式で握手する釜山情報観光高等学校の尹秉吉校長(左)と花巻東高校の小田島順造校長

花巻東高韓国の高校と姉妹校に
花巻東高校と韓国の釜山情報観光高等学校の国際姉妹校締結式が10月18日、ホテルグランドシエール花巻で行われました。花巻東高校が平成15年に修学旅行で釜山情報観光高校を訪れたことがきっかけで、始まった両校の交流。以後10年間で延べ300人の生徒が釜山を訪問し、お菓子作りやサッカーの試合などの交流を重ねてきました。この国際姉妹校締結を機に、両校が情報や文化を共有しながら、さらに国際親善を進めることが期待されます。